

	学習内容	単元の具体的な指導目標 と評価規準	評価方法			予定 時数
			知	思	主	
2 学 期	第2部 大気と海洋 第1章 大気の特徴 第1節 大気圏 第2節 水と気象 第2章 太陽放射と 大気・海水の運動 第1節 地球のエネルギー収支 第2節 大気の大循環 第3節 海水の循環 第3章 日本の天気 第1節 日本の位置 第2節 冬から春の天気 第3節 夏から秋の天気	<ul style="list-style-type: none"> ・気圧や気温の鉛直方向の変化などについての資料に基づいて、大気の特徴を見出して理解することができる (知・思・主) ・太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量がつり合っていることを理解することができる (知・思・主) ・大気と海水の大循環について理解することができる (知・思・主) ・緯度による太陽放射の受熱量が異なることなどから、地球規模で熱が輸送されていることを見出して理解することができる (知・思・主) 	定期 考 査	「ま と め プ リ ン ト」 取 り 組 み の 状 況	「問 題 集 か ら り 取 り 組 み の 課 題」 取 り 組 み の 状 況	15
	第3部 移り変わる地球 第2章 地球と生命の進化 第1節 先カンブリア時代 第2節 顕生代 第3章 地球史の読み方 第1節 地層から分かること 第2節 地層の形成 第3節 地層の読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・地層や化石に関する観察などを行い、地質時代が古生物の変遷に基づいて区分されることを理解することができる (知・思・主) ・地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動の相互の関りを見出して理解することができる (知・思・主) 	定期 考 査	「ま と め プ リ ン ト」 取 り 組 み の 状 況	「問 題 集 か ら り 取 り 組 み の 課 題」 取 り 組 み の 状 況	13
	第1章 地球の誕生 第1節 宇宙の誕生 第2節 太陽系の誕生	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の誕生、太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解することができる (知・思・主) 	定期 考 査	「ま と め プ リ ン ト」 取 り 組 み の 状 況	「問 題 集 か ら り 取 り 組 み の 課 題」 取 り 組 み の 状 況	10
3 学 期	第4部 自然との共生 第1節 地球環境と人類 第2節 地震災害・火山災害地 第3節 気象災害 第4節 災害と社会 第5節 人間生活と 地球環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模の自然環境に関する資料に基づいて、地球環境の変化を見出してその仕組みを理解することができる (知・思・主) ・地球環境の変化と人間生活との関りについて認識することができる (知・思・主) ・日本の自然環境を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など自然環境と人間生活との関りについて認識することができる (知・思・主) 			6	
合計					70	

※ 社会状況や生徒の実態に合わせて、進度および学習単元の順序を変更する場合があります。